

第1回川西町第3次地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会
議事録

会議名称	第1回川西町第3次地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会
開催日時	令和7年12月22日（月）午後2時00分～午後4時00分
開催場所	川西町役場2階202会議室
出席委員	渡辺委員、山田委員、山岡委員、安井委員、吉村(雅)委員、 幾島委員、辰巳委員、吉村(伸)委員、松波委員、上田委員、 矢部委員、森田委員、橋本委員 (以上13名)
事務局	川西町福祉こども課：大野課長、福井(菜) 社会福祉協議会：川北局長、川口、片田、福井(信) サーベイリサーチセンター：萬関、眞木
議題	1. 開会 2. 委員紹介 3. 議事 （1）地域福祉計画及び地域福祉活動計画について （2）町民・団体アンケート（素案）について （3）重層的支援体制整備事業実施計画について （4）その他について 4. 閉会
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「川西町第3次地域福祉計画及び地域福祉活動計画」の策定について ・町民アンケート（素案） ・団体アンケート（素案） ・川西町重層的支援体制整備事業実施計画

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
町長	1. 開会 ○あいさつ
事務局	2. 委員紹介 ○開会あいさつ ○配布資料確認 ○各委員紹介 ○会長及び職務代理者選任 会長 渡辺委員、職務代理者 吉村(雅)委員を選任 ○事務局紹介
渡辺会長	3. 議事 (1) 地域福祉計画及び地域福祉活動計画について それでは、議事を進めていく。議事(1)について、事務局より説明をお願いします。
事務局	○資料『「川西町第3次地域福祉計画及び地域福祉活動計画」の策定について』に基づき説明
渡辺会長	地域福祉計画及び地域福祉活動計画の概要について説明いただいた。 ご意見やご質問はないか。 ご意見がないようなので、概要についてはご理解いただけたということによろしいか。
委員一同	(異議なし)
渡辺会長	(2) 町民・団体アンケート(素案)について 議事(2)の、町民アンケート(素案)について、事務局より説明をお願いします。
事務局	○資料『町民アンケート(素案)』に基づき説明。
渡辺会長	町民アンケート(素案)について説明いただいた。 内容について、ご意見やご質問はないか。

吉村(伸)委員	アンケートの対象者を、18歳以上の住民1,000名としているが、川西町の人口からして、1,000名という数字が妥当かどうかの検証はしているのか。
事務局	一般的な社会調査においては、誤差率を5~10%以内に収める必要があるが、川西町の人口から計算すると、400名弱ほどの回答が必要となる。回収率を50%、もしくは40%と見込んだ際に、400名の回答を確保できるというところから、1,000名という人数を設定させていただいた。
吉村(雅)委員	問3（お住まいの地区）について、ル・ソレイユという、外国人の方が多く住んでいるマンションがあるが、その方々もアンケートの対象となるのか。火事などがあったときの心配をする声もあり、そもそも日本語で書いているアンケートが理解できるのかという問題もあるが、選択肢に入っていないので気になった。
森田委員	ル・ソレイユは出屋敷に入ってくるが、そうした認識は中々ないとは思うので、マック結崎の後ろに記載すれば親切かと思う。
事務局	マック結崎の後ろに、ル・ソレイユと記載するようにしたい。また、1,000名を無作為抽出することとしているため、外国人の方を対象から外すということはない。日本語の問題については、質問があれば事務局までというような案内を追加するか検討する。
上田委員	問2（年代）について、75歳以上で一括りにされているが、75歳の方と80歳の方とでは、できる活動や認識などが大きく違う。75歳以上についてもっと細かく分けたほうが、寄り添った内容となるのではないか。
事務局	例えば、75~80歳、80歳以上といった形がよいか。それとも、もっと上の年代まで細かく分けていった方がよいか。
上田委員	どこまで求められているかというのは分からないが、少なくとも75歳の方はまだまだお元気な方が多い。
事務局	80歳以上などで区切らせてもらう場合が多いが、分布が気になるということであれば、直接年齢を記入いただき、集計の際に分布をみて区切らせていただくということもできる。
渡辺会長	その場合、集計の際に手間や問題があるといったことはないか。
事務局	問題ない。
渡辺会長	では、年齢を記入いただくという形に修正するという事でよいか。

委員一同	(異議なし)
渡辺会長	他にあるか。
山田委員	過去(他)の調査において、QRコード(Web)と紙の回答割合はどの程度なのか。
事務局	年齢層にもよるが、Web回答は30%程度となることが多い。若い方が対象の調査であれば50%近くになることもあるが、住民の方皆さんにとということであれば30%ほどである。
山田委員	「7 再犯防止について」とあるが、福祉計画において再犯という言葉に少し違和感がある。例えば社会復帰支援であるとか、そういった名称の方が福祉らしいのではないかという印象を持った。
渡辺会長	今回の地域福祉計画の中には、再犯防止推進計画も含めて策定するということだと思うが、法律上の表現とはなっている。確かに少し感覚として違和感はあるかもしれないが。
山田委員	分かりました。
矢部委員	問49(社会福祉協議会の事業)について、障害者福祉についての記載がない。障害者福祉事業は一つの柱でもあるので、しっかりと入れておいてもらいたい。
渡辺会長	13ページの表の中で、13~15番が障害者福祉サービスのことだと思うが、確かに一般の方が見た際に、誰を対象としたものなのか分かりにくいだらうと感じた。障害者を対象とした、のような文言は入れておいた方がよいと思う。
事務局	文言について、見直しをさせていただく。
矢部委員	事業名として、もう少し障害者支援ということが分かるようにしてもらいたい。磯城郡には社会福祉協議会が3つあるが、その中で障害者福祉を一番しっかりとやっているのは川西町の社会福祉協議会で、大きな特徴となっている。そういったところを町民の皆さんにもしっかりと分かっていただけのようにしてもらえるとありがたい。

渡辺会長	<p>アンケート調査の在り方として、町民の方々に答えてもらうということだけではなく、川西町の社会福祉協議会の取り組みを認識してもらうための媒体としても位置付けられると思う。そういった意図で、表現を丁寧に書いてもらいたい。</p> <p>9番なども、日常生活自立支援事業のことかと思うが、8番のようにどういった方を対象になど丁寧に書いてはどうか。</p> <p>障害者福祉サービスに取り組んでおられるとのことなので、そういった部分を前面に押し出しPRするという意味でも、13～15番について表現を検討してもらいたい。</p>
渡辺会長	<p>同じく問49について、7番の選択肢が共同募金配分事業となっているが、現在の活動計画においては、共同募金配分金事業となっているため文言を統一してもらいたい。また、集められた募金を配分するのは共同募金会の事業であるため、「共同募金の助成を受けて、地域福祉推進事業やボランティア団体などの助成に活用する」というような表現に修正してもらいたい。</p>
山岡委員	<p>提案だが、社協の事業についてはHPにも掲載しているため、Webで可能なのは分からないが、QRコードを掲載してそこから見てもらってはどうか。</p>
事務局	<p>表、QRコード、URLなど、どういった形でもWebで掲載することは可能である。ただ、Webの場合は別画面になってしまうため、表は載せたうえで、詳しくはHPでも確認できるようにするのがよいと思われる。</p>
渡辺会長	<p>併せてとなるが、問21でまるっと相談室について尋ねているが、まるっと相談室についての説明が全くない。これについても、少し説明を入れたり、QRコードを載せたりするとよいのではないかと思う。</p>
渡辺会長	<p>問23において、町内会という言葉が出てくるが、川西町では町内会という表現は使われるのか。ないのであれば、ほかの問や選択肢でもいくつか出てくるため、自治会などといった表現で統一してもらいたい。</p>
渡辺会長	<p>問51で今後取り組むべきだと思ふ施策を尋ねているが、厚生労働省が示しているガイドラインや、地域共生社会の在り方検討会議の中間とりまとめでは、身寄りのない高齢者の支援や孤立予防といったものが大きな課題として出てきている。調整が必要だとは思いますが、そういった選択肢も入れてはどうかと感じた。また、ヤングケアラーや若者ケアラーなど、介護をする人に対する支援というのも大きな課題となっているため、そのあたりも入れる必要があるのかもしれない。</p> <p>あと、11番で生活困窮者への経済的支援策とあるが、地域社会との関係性やいろいろな事情により経済的に困窮の状態にある者という生活困窮者の定義からも、必要な支援というのは経済的な支援だけではないため、孤立の予防や地域とのつながりを復活させるというような意味合いも含めた選択肢にする必要があるのではないかと思う。</p>

事務局	ご指摘いただいた項目を選択肢に追加する。
矢部委員	老人会や婦人会の維持が難しくなっている。自治会とは別に、地域活動の一つとしてこういった団体があるという宣伝を兼ねる意味でも、そういった言葉を入れてもらいたい。
事務局	検討し、追記する。
渡辺会長	問 23 など、自治会等や地縁組織という表現を使うかどうか、問 26 で婦人会などの活動を充実させるというような選択肢を入れるといったことは考えられる。PR という観点も含めて、検討いただきたい。
事務局	検討する。
安井委員	問 51 の生活困窮者への経済的支援策に関してだが、生活保護とのつなぎ資金以外に直接的な支援を行う施策というのは、現在川西町ではあるのか。行政は受付をするのか。
矢部委員	社協で受付をしている。
安井委員	社協での受付が年間で2、3件。生活困窮者はたくさんいるが、窓口が分からない。どこに行ってもいいか分からないというのが現実。
森田委員	これは生活保護のことを書いているのではないか。
事務局	生活保護の申請があつてのつなぎ資金だと思うが、それらも含めた大きな意味での生活困窮者という意図で書かせていただいた。
森田委員	生活保護の相談は、住民保険課の生活保護の担当がお話をお伺いして、中和福祉事務所につなぐのかということとあり、役場の窓口としてはそこになる。
安井委員	それが川西町では年に1、2件しかないのか。
森田委員	たくさんある。生活保護の申請をして保護費が支給されるまでに一ヶ月ほどかかるため、その間のつなぎとして社協のつなぎ資金があり、その相談が年間2、3件である。誰でも借りられるというわけではない。
渡辺会長	生活困窮者というのは生活保護の申請をしている方だけではないので、ここでの生活困窮者というのは、それらも含めて、もう少し広い意味でとらえる必要があると思われる。

安井委員	<p>同じく問 51 の 13 で困難な問題を抱える女性への支援とあるが、それは誰がどうやって見極めるのか。</p>
事務局	<p>これは相談支援になってくるが、例えばDVやしんどい思いをした女性の方について、今は相談に来た時に初めて認識できる状況になっている。地域の中にそういった方がいた時に、地域の方が役場につなげていただくなどができればと思い、項目として入れている。</p> <p>先ほどの生活困窮者のところだが、いただいたご意見も踏まえて、もう少し広い意味としてとらえられるような文言に見直したい。</p>
安井委員	<p>具体的な話になるが、死者が出てお葬式をするお金がないが何とかしてくれと言われたときに、どこに話をもっていけばいいのか。長年自治会長をしているが、そういった相談には誰も乗ってくれない。行政にもっていけばいいのか。</p>
森田委員	<p>以前そういった案件があり、住民保険課から県へつないだところ、県から費用が出たというケースはあった。相続人などがいれば出していただくことになるが、調査をした結果誰も相続人がいないという場合には、こういったケースもある。すべての問題をクリアできるわけではないが、こういった場合もある。</p>
山岡委員	<p>先ほどの話だが、相続される方が支払いをすることによって生活保護になってしまうということであれば、葬祭扶助という制度がある。</p> <p>また、完全に断絶していて1人だということであれば、墓地埋葬法により、亡くなられた方がいらっしゃったところの市町村長が埋葬するということになる。なので、病院で亡くなって誰が引き取るのかとなった際には、そういった対応をしていくことになる。</p> <p>こういったところが、福祉事務所などが行っている、生活困窮、最低生活費を下回られたような方への対応になる。</p> <p>生活困窮については、働きたいけど働けない、家賃が払えないというような状態だが生活保護は受けたくないというような方に対して、生活困窮者自立支援制度を行っている。コミュニティソーシャルワーカーさんが、月曜から金曜までフルでは働けないという人について、二人合わせてワークシェアリングでどこか雇ってくれるところはないかと活動しているケースなどもあると聞いている。</p> <p>福祉事務所での生活保護もあれば、このような地域福祉の観点での活動もあるし、1つの課題に対して、ここまでなら対応できるので、他の部分について得意なところはないかとみんなで寄り集まる、重層的な生活支援というような形で繋がっていくのではと考えている。</p>

渡辺会長	<p>そういったケースはどんどん増えてくると思う。断らない相談支援というものがキーワードとなっているため、とりあえず窓口を持ち込んでいただき、内々で調整・検討をし、つなげていくということをしなないといけないのだろう。</p>
山田委員	<p>身寄りのない高齢者支援が非常に重要だということだが、例えば施設や病院で亡くなられたというケースについて、相談ルートというのは確立されているのか。</p>
事務局	<p>重層的支援体制整備事業について後ほど説明させていただくが、役場に何でも相談窓口を作っている。いったん相談窓口で受けさせていただき、関係機関が集まった支援会議で支援の方針を決定していくというような仕組みは確立している。</p>
山田委員	<p>病院だと、本当に亡くなってからどうしようかというケースがあるのだが、住所地の市町村に相談させてもらえばいいのか。</p>
事務局	<p>孤立死などといったケースだろうか。そういった問題については、重層的支援体制の整備とどのようにつなげていくのか、課題として持ち帰らせていただきたい。</p>
山田委員	<p>問 47 についてだが、災害ボランティアというのが大事かと思う。避難行動要支援者を支援するのはボランティアしかないとも言われているので、災害ボランティアという言葉を入れてもらいたい。</p>
渡辺会長	<p>同じく選択肢に、地域で子どもへの防災教育の機会を増やすとあるが、防災ボランティアの養成も含めて、防災教育の機会を増やすべきなのは子どもだけではない。いろんな年代で防災ボランティアを養成していかなければならない。</p>
事務局	<p>文言を付け加える。</p>
渡辺会長	<p>他にないか。ないようであれば、団体アンケート（素案）について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>○資料『団体アンケート（素案）』に基づき説明。</p>
渡辺会長	<p>団体アンケート（素案）について説明いただいた。 内容について、ご意見やご質問はないか。</p>

吉村(伸)委員	問3と問5について、商工会議所ではなく商工会と名称を修正してもらいたい。
事務局	修正する。
森田委員	町民アンケートと同様に、町内会・自治会を自治会に修正する点と、川西町に商店街はないのではないかと。
事務局	商店街は存在しないため修正する。
渡辺会長	問8の経済的支援という選択肢は、財政的支援の方が適切かと思う。また、団体の主な目的と活動内容を書いてもらうようにしているが、行政や社協で既に把握しているのではないかと。書くというは大変なので、書類を添付してもらうとかでもよいのではないかと。
事務局	項目としては削除し、資料などがあれば添付していただくかたちに修正したい。
山田委員	問9について、利用したことがあるという選択肢があってもよいのではないかと。
渡辺会長	ちなみに、令和6年の相談件数や実績のようなものは何かないかと。
事務局	月に1回役場から出向いて相談室を開催しているが、たくさん来られるかというところまでではない。ただ、事業評価にもなるため、利用したことがあるという項目については付け加えさせていただく。
渡辺会長	ほかに、町民・団体全体を振り返って何か意見はないかと。 ないようなので、アンケートについては以上として、議事(3)について、事務局より説明をお願いします。
	(3) 重層的支援体制整備事業実施計画について
事務局	○資料『川西町重層的支援体制整備事業実施計画』に基づき説明。
渡辺会長	重層的支援体制整備事業実施計画について説明いただいた。 内容について、ご意見やご質問はないかと。
渡辺会長	確認だが、こちらは今年の4月からということ目標数値も書いてあるが、毎年度更新なのか。先ほどの相談室の件なども、相談件数などの数字が盛り込まれて更新されていくイメージでよいかと。

事務局	その予定である。どれほど町民の方に普及できているかというところもあり、アンケート調査にも入れさせていただいた。
渡辺会長	<p>地域福祉計画にも関わるものとして、この重層的支援体制整備事業計画も作成、見直しをされていくということであった。質問や意見はよろしいか。ないようなので、議事（４）について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(4) その他について</p>
事務局	<p>策定委員会は本日を含めて全３回で、次回は来年度８月頃を予定している。アンケートについては、本日いただいた意見をもとに内容を再考し、２月に実施予定である。会議資料については、今回同様開催１週間前を目途に郵送するため、ご一読の上当日ご持参いただきたい。</p>
渡辺会長	<p>今後の日程について説明いただいたが、ご意見やご質問はないか。</p>
渡辺会長	<p>次回が８月ということなので、アンケート調査についてなど、適宜情報提供をしていただきたい。</p> <p>以上で議事を終了する。</p> <p>4. 閉会</p>

上記のとおり確認致しました。

令和８年１月22日

議事録署名委員

矢部 智

議事録署名委員

幾島 藍子